

HEALTH CONTROL SYSTEM

Patent Number: JP7093287
 Publication date: 1995-04-07
 Inventor(s): YAMAZAKI KENSUKE
 Applicant(s):: NEC CORP
 Requested Patent: ■ JP7093287
 Application Number: JP19930255233 19930920
 Priority Number(s):
 IPC Classification: G06F17/00 ; G06F19/00
 EC Classification:
 Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To provide the health control system for totally judging the state of health from diet based on nutrition ingesting conditions and the health diagnostic result.
CONSTITUTION:The identification ID of a user 1 and information showing the name of food purchased by the user 1 are inputted from a register 2 installed at a restaurant. Based on the identification ID and the food name information from the register 2, the nutrition ingesting information for each user 1 is calculated and stored for a long time by a host computer 5 for health control. A host computer 8 for health diagnosis stores the health diagnostic result of the user 1 and transfers health diagnostic information based on this result to the host computer 5 for health control. The host computer 5 for health control performs the health control of the user 1 by analyzing the health diagnostic information and the nutrition ingesting information and outputs health control information for each user 1 to an output device 7. The health control information of the user 1 is displayed or printed by the output device 7 so as to be reported to the user 1.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-93287

(43) 公開日 平成7年(1995)4月7日

(51) Int.Cl.⁶
G 0 6 F 17/00
19/00

識別記号 庁内整理番号 F I

技術表示箇所

8724-5L

G 0 6 F 15/ 20
15/ 42

G
A

審査請求 有 請求項の数2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-255233

(22) 出願日 平成5年(1993)9月20日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 山▲ざき▼ 憲右

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

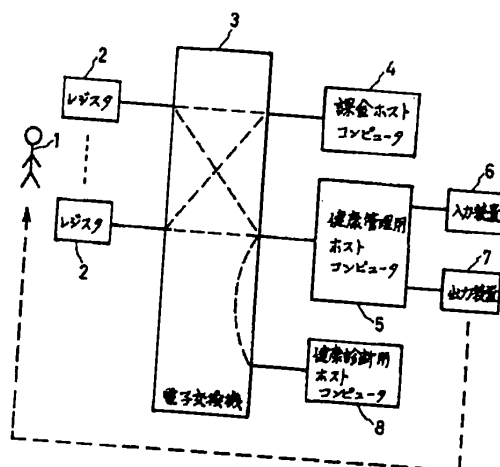
(74) 代理人 弁理士 山川 政樹

(54) 【発明の名称】 健康管理システム

(57) 【要約】

【目的】 栄養摂取状況と健康診断結果に基づき健康状態を食生活より総合的に判断する健康管理システムを提供する。

【構成】 食堂に設置されたレジスタ2から利用者1の識別IDと利用者1が購入した食品名情報が入力される。健康管理用ホストコンピュータ5は、レジスタ2からの識別IDと食品名情報に基づき利用者1ごとの栄養摂取情報を算出して長期にわたって蓄積する。健康診断用ホストコンピュータ8は、利用者1の健康診断の結果を記憶しこの結果に基づく健康診断情報を健康管理用ホストコンピュータ5に転送する。健康管理用ホストコンピュータ5は、健康診断情報と栄養摂取情報を分析して利用者1の健康管理を行い、利用者1ごとの健康管理情報を出力装置7に出力する。出力装置7によって利用者1の健康管理情報が表示又は印刷されることにより利用者1に通知される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 健康管理の対象者の識別 ID とこの対象者が摂取した食品名情報を入力する入力手段と、この入力手段と接続され前記識別 ID と食品名情報を転送する通信手段と、前記食品名情報に応じた栄養量を記憶し、前記通信手段を介して入力手段から送出された識別 ID と食品名情報に基づいて対象者ごとに栄養摂取情報を算出して蓄積し、健康診断の結果に基づく健康診断情報と前記栄養摂取情報を分析して健康管理を行い、対象者ごとに健康管理情報を出力する健康管理手段とを有することを特徴とする健康管理システム。

【請求項 2】 請求項 1 記載の健康管理システムにおいて、入力手段を食堂に設置されたレジスタとし、健康管理の対象者を食堂の利用者とすることを特徴とする健康管理システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は健康管理システムに関し、特に企業等の食堂を利用する利用者の健康管理を行う健康管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より健康を維持し、理想的な体型及び体重を維持するため、又は肥満症や糖尿病等の治療及び予防のため食事の合理的な管理が要求されている。通常、食生活における健康管理は、食品成分表、メニュー上のカロリー表示等を参考にして個人が栄養摂取状況を判断しているが、これはあくまでも本人の判断基準に依存している。このような栄養摂取状況を判断するものとして特開昭 62-293373 号公報に開示された栄養管理装置があり、これはある期間内に飲食した飲食物について栄養データを累積演算して栄養の摂取に過不足があるかどうかを判断し、栄養の摂取に過不足がある場合には CRT に警報を表示するものである。

【0003】 また、特開平 1-276955 号公報に開示されたカロリー摂取情報サービス方式もあり、これは食堂に設置された POS ターミナルから入力された利用者の食事のメニューに基づき利用者のカロリー摂取量を算出して電話機により利用者にカロリー摂取量のデータを提供するものであるが、これらはいずれも栄養摂取状況が分かるだけであり、健康管理は本人の自覚に頼るのみであった。また、定期的に行われる健康診断で例えば肥満症、高血圧症、コレステロール大などの症状が認められたとしても、その健康診断の結果が本人に通知されるだけであった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 従来の健康管理は以上のようにして行われていたもので、ある期間の栄養データを累積演算する栄養管理装置であっても、あくまで栄養

摂取状況が分かるだけであり、本人の健康状態を含めた判断を行うものではないという問題点があった。また、健康診断で例えば肥満症、高血圧症などの症状が認められたとしても、その健康診断の結果が本人に通知されるだけで、栄養摂取状況と健康診断結果より食生活について総合的に判断し、健康を害する前に本人に通知して疾病、成人病等を予防しようとするシステムはなく、その結果を食生活に反映させることは本人の自覚に頼るのみであるという問題点があった。本発明は、上記課題を解決するために、栄養摂取状況と健康診断結果より食生活について総合的に判断する健康管理システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、健康管理の対象者の識別 ID とこの対象者が摂取した食品名情報を入力する入力手段と、この入力手段と接続され識別 ID と食品名情報を転送する通信手段と、食品名情報に応じた栄養量を記憶し、通信手段を介して入力手段から送出された識別 ID と食品名情報に基づいて対象者ごとに栄養摂取情報を算出して蓄積し、健康診断の結果に基づく健康診断情報と栄養摂取情報を分析して健康管理を行い、対象者ごとに健康管理情報を出力する健康管理手段とを有するものである。また、入力手段を食堂に設置されたレジスタとし、健康管理の対象者を食堂の利用者とするものである。

【0006】

【作用】 本発明によれば、食品名情報に応じた栄養量があらかじめ健康管理手段に記憶され、通信手段を介して入力手段から送出された識別 ID と食品名情報に基づき、健康管理手段によって対象者ごとに栄養摂取情報が算出され、健康診断の結果に基づく健康診断情報と栄養摂取情報が分析されることにより対象者ごとに健康管理が行われ、健康管理情報が出力されて対象者に通知される。また、食堂に設置された入力手段であるレジスタから対象者の識別 ID と食品名情報が入力されることにより食堂の利用者の健康管理が行われる。

【0007】

【実施例】 図 1 は本発明の 1 実施例を示す健康管理システムのブロック図である。1 は企業内の食堂の利用者、2 は利用者 1 の識別 ID と利用者 1 が購入した食品名情報を入力する入力手段であるレジスタ、3 は通信手段である電子交換機、4 は利用者 1 の課金情報を積算する課金ホストコンピュータである。5 は健康管理用ホストコンピュータであり、電子交換機 3 を介してレジスタ 2 から送出された識別 ID と食品名情報に基づいて利用者 1 ごとに栄養摂取情報を算出して蓄積し、健康診断情報と栄養摂取情報を分析して健康管理を行い、利用者 1 ごとの健康管理情報を後述する出力装置に出力する。

【0008】 また、6 は食堂で販売される食品の食品名情報とその栄養量を入力する入力装置、7 は利用者 1 の

健康管理情報を表示又は印刷する出力装置、8は利用者1の健康診断の結果を記憶しこの結果に基づく健康診断情報を健康管理用ホストコンピュータ5に転送する健康診断用ホストコンピュータである。

【0009】通信手段である電子交換機3は、レジスタ2、課金ホストコンピュータ4、健康管理用ホストコンピュータ5、健康診断用ホストコンピュータ8を収容し、レジスタ2と課金ホストコンピュータ4又は健康管理用ホストコンピュータ5、健康管理用ホストコンピュータ5と健康診断用ホストコンピュータ8をそれぞれ相互に通信可能としている。

【0010】そして、健康管理手段は、健康管理用ホストコンピュータ5、入力装置6、出力装置7、健康診断用ホストコンピュータ8から構成されている。本実施例は本発明の健康管理システムをキャッシュレスサービスを用いた企業内の食堂に適用した例である。次に、このような健康管理システムについて説明する。

【0011】企業内の食堂におけるキャッシュレスサービスは、例えば磁気カードに記憶された利用者IDによって利用者1を識別し、食堂に設置されたレジスタ2に利用者1の購入した食品名を入力する。そして、この入力された食品名に応じた課金情報がレジスタ2から電子交換機3を介して課金ホストコンピュータ4へ利用者IDと共に転送される。

【0012】こうして、課金ホストコンピュータ4は、利用者1ごとに課金情報を積算して例えば月毎の利用額を計算する。同時に、利用者1の購入した食品名情報は、レジスタ2から電子交換機3を介して健康管理用ホストコンピュータ5へ利用者IDと共に転送される。

【0013】次に、健康管理用ホストコンピュータ5には、あらかじめ食堂で販売される食品の食品名情報とその栄養量、例えばカロリー、塩分、脂質、カルシウムが入力装置6から入力されて記憶されている。健康管理用ホストコンピュータ5は、記憶しているこれらの情報とレジスタ2から受信した利用者ID、食品名情報に基づいて利用者1ごとに摂取栄養量、食事バランス等の栄養摂取情報を算出する。そして、このような算出を食堂が利用される度に繰り返して栄養摂取情報を累積演算し、この栄養摂取情報を長期にわたって蓄積する。

【0014】一方、健康診断用ホストコンピュータ8には定期的に行われる利用者1の健康診断の結果が記憶されている。そして、健康診断用ホストコンピュータ8は、健康診断の結果からリストアップされた利用者1、すなわち肥満症、糖尿病、高血圧症、コレステロール大等の症状がある健康に注意を要する利用者1の利用者IDとその注意内容及び摂取が認められる栄養の摂取許容量等の健康診断情報を健康管理用ホストコンピュータ5に転送する。

【0015】健康管理用ホストコンピュータ5は、蓄積している栄養摂取情報に基づいて例えばカロリー過多、

塩分過多、カルシウム過少など摂取量の異常がないかどうかを判断する（この判断を（イ）とする）。また、健康診断用ホストコンピュータ8から送出された利用者ID及び健康診断情報と蓄積している栄養摂取情報に基づき、要注意とされた利用者1が摂取許容量内の食事をしているかどうかを判断する（この判断を（ロ）とする）。

【0016】そして、健康管理用ホストコンピュータ5は、上記（イ）又は（ロ）の判断から異常と思われる利用者1がいるか又は外部からの指令に応じて利用者1の警報内容や栄養摂取情報等の健康管理情報を出力装置7に出力する。こうして、出力装置7によってこの健康管理情報が表示されるか、又は健康管理情報が印刷されることにより利用者1に通知される。

【0017】なお、本実施例ではキャッシュレスサービスを用いた企業内の食堂の例で説明したが、入力手段から利用者IDと食品名情報を入力できれば通常の食堂であっても良く、更に利用者1の食事内容に応じた栄養量を健康管理用ホストコンピュータ5に記憶させておけば、食堂の利用者でなくてもこの健康管理システムを利用することができる。また、通信手段は電子交換機3を介さない通信ネットワークであっても良く、この健康管理システムが複数の場所に跨る大規模なネットワークシステムであっても良い。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば、健康管理手段により入力手段からの識別IDと食品名情報に基づいて健康管理の対象者ごとの栄養摂取情報が算出されるので、長期にわたって対象者の栄養摂取状況を認識することができ、更に健康診断の結果に基づく健康診断情報と栄養摂取情報が分析されて健康管理情報を得ることができるので、健康診断の結果を十分に生かして対象者個々の健康状態を食生活より総合的に判断することができ、成人病防止に役立てることができる。

【0019】また、入力手段を食堂に設置されたレジスタとすることにより食堂の利用者の健康管理を行うことができ、企業等の組織において利用者である社員の健康管理をきめ細かく行うことができ、社会的に問題となっている過労死防止にも役立てることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施例を示す健康管理システムのブロック図である。

【符号の説明】

- 1 利用者
- 2 レジスタ
- 3 電子交換機
- 4 課金ホストコンピュータ
- 5 健康管理用ホストコンピュータ
- 6 入力装置
- 7 出力装置

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.